

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成 23 年 10 月 26 日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）		氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
福知山市長田野町2丁目66-3		執行役員福知山事業所長 星川 郁生

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	日本ビラー工業㈱環境マニュアル（ISO14001）
適 用 範 囲	日本ビラー工業㈱三田工場・福知山事業所
導 入 年 月 日	平成11年 9 月 3 日
認 証 番 号	1425-1999-AE-KOB-RvA
基 本 方 針	省資源と安全でクリーンな環境づくりに貢献する製品を提供するために、研究開発を進めていき、事業活動と環境との調和を図るため、環境マネジメントシステムを確立し、環境負荷を減らすための継続的な改善と汚染の予防を図ります。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー（電気・ガス）使用量 2009年度比出荷高原単位10%減 ・CO2排出量 2009年度比出荷高原単位1%減 ・廃棄物の削減 2009年比出荷高原単位3%減 ・廃棄物のリサイクル化 固形廃棄物 73.4%以上実施 その他 環境マネジメントプログラムにより設定
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー（電気・ガス）使用量 大型電気炉の断熱材の更新、電気炉の稼働サイクルの見直し 工場内圧縮エアリークの定期点検等 ・CO2排出量： ガス燃焼設備のタイマー運転による調整 ・廃棄物の削減： 各製造部署における不良撲滅対策 ・廃棄物のリサイクル化： 分別の徹底・新規リサイクル品の開拓
目標を達成するための取組の進捗状況	各部署において環境実施計画書を作成し取組んでいる。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	各部署において環境実施計画書を作成し取組んでいる。 ほぼ目標の通り進んでいるが、CO2排出量のみ、出荷高原単位の目標を17%超過した。 原因として、平成22年夏季の猛暑においてガス炊き空調設備のガス使用量が多くなったため。
事業活動に係る法令の遵守の状況	平成22年度においては、環境法規制において特に違反、関係官庁からの指摘等は無かった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しは年1回実施している。 平成21年度から平成22年度にかけて、大きく変更した項目は無し。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。